

軍需企業 自民に献金 2億円



「国民政治協会」に多額の献金をしていた三菱電機＝鎌倉市

護衛艦や潜水艦などの軍需品を2020年度に防衛省に納入した軍需企業上位の会社が、同年、自民党的政治資金団体「国民政治協会」にあわせて2億円を超す献金をしていたことが本紙の調べでわかりました。政府が閣議決定した21年度補正予算案で、軍事費は過去最高の77338億円、当初予算の歳出額と合わせると初めて6兆円を突破しました。アメリカ言いなりに大軍拠をすすめる陰に、軍需企業の献金攻勢が浮かび上がりました。

軍事費6兆円突破の陰で

防衛省の契約実績上位会社の国民政治協会への献金額

	契約金額 (億円)	献金額 (万円)
①三菱重工業	3102	3300
②川崎重工業	2150	300
③富士通	847	1500
④三菱電機	797	2000
⑤日本電気	674	1500
⑥IHI	354	1000
⑦日立製作所	227	5000
⑧小松製作所	218	800
⑨伊藤忠アビエーション	185	※2800
⑩ダイキン工業	161	520
⑪いすゞ自動車	97	1300
⑫伊藤忠エネクス	90	—

（注）防衛装備庁資料、政治資金収支報告書（2020年分）で作成。※は伊藤忠商事の献金額

契約額上位二菱重工など

ステムなどを納入、同4.7%。

本紙は、防衛省の外局である防衛装備庁が発表している「令和2年度上位20社の契約実績」に名前を運ねた企業の献金額を、総務省が11月26日に公表した20年1月～11月を調べて、高性能20ミリ機関砲性能向上機材などを納入している三井重工業は契約実績トップで、護衛艦（3900隻）、哨戒ヘリコプターなどを納入、同年度の政府調達額一兆7121億円の18.1%を占めています。献金額が2000万円の三井電機は、中距離地対空誘導弾、ネットワーク電子戦システムなどを納入している企業である伊藤忠商事は2800万円を献金しています。これらあわせて2億円を突破しました。（表参考）

「国民政治協会」に多額の献金をしていた三菱電機＝鎌倉市